

◆ 目次 ◆

- 1 「伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶」
- 2 「総領事館からのお知らせ」
- 3 「領事便り」
- 4 「広報・文化便り」
- 5 「日本関連行事等のお知らせ」
- 6 「ケベック州・大西洋4州政治経済情勢」

1 伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶

本格的な冬に入り、寒い日が始まりましたが、皆様如何お過ごしでしょうか。

在モンリオール総領事の伊澤です。

赴任から2ヶ月がたち、先日ようやく船荷が届き、ようやく引っ越しが終わりました。

11月23日に行いました天皇誕生日レセプションには、お足元の悪い中、400名もの多数の方々にお越し頂き、お陰様で盛大に催すことができました。改めて皆様に感謝申し上げます。

レセプションにはジロー・ケベック州国際関係・仏語圏大臣にもお越し頂き、素晴らしいスピーチを頂いた他、大臣のお忙しいスケジュールにもかかわらず、午後8時頃まで会場に残って出席者の方々と歓談頂きました。主催者側として多謝、幸甚であります。その場でも申し上げましたが、来年の日ケベック関係は、ジロー大臣、さらには可能であればルゴー州首相の訪日を中心に進展していくことになるでしょう。

このレセプションの際に、これからの日ケベック関係について卑見を申し上げます。少し踏み込んだ私見ですが、多くの方々から御意見を頂きましたので、ホームページの方に改めて掲載することとしました。

前回のご挨拶でも申し上げましたが、総領事館の活動を皆様におわかり頂くための試みとして、ホームページの項目を整理（新たにモンリオールの医療事情と教育事情のコーナーを設けます。また、先日お会いしたモンリオール・アカデミー会の皆様の了解を得て、同会のホームページとのリンクを設けました。）し、フェイスブックには小官も含め館員たちの活動を積極的に掲載することとしました。また、このメルマガやホームページに、モンリオール在住で、様々な分野で活躍されるの方々から、現地事情について寄稿を頂くことを考えています。

既に、師走、これから年末新年を迎え、皆様お忙しいことと思いますが、くれぐれもお身体をご自愛頂き、良き新年をお迎えください。

2 総領事館からのお知らせ

- 2018年12月, 2019年1月の休館日のお知らせ
 - 12月24日(月) 天皇誕生日振替休日, Christmas Eve
 - 12月25日(火) Christmas Day
 - 12月26日(水) Boxing Day
 - 12月31日(月) 行政機関の休日
 - 1月 1日(火) 元日(New Year's Day)
 - 1月 2日(水) 行政機関の休日
 - 1月 3日(木) 行政機関の休日

3 領事便り

(1) パスポート・各種証明書の年内交付分の申請受付最終日について(再度のご案内)

パスポート・各種証明書の年内交付分の申請受付最終日を以下のとおりお知らせいたします。

- パスポート 12月18日(火)申請受理 → 12月28日(金)交付
- 各種証明 12月20日(木)申請受理 → 12月28日(金)交付
- 査証 12月18日(火)申請受理 → 12月28日(金)交付

上記の日より後に申請されたパスポート・証明書などの交付は, 来年1月4日(金)以降になります。

帰国のための渡航書の発給など, 人道上やむを得ないご事情がおりの方は, 当館領事班までご相談ください。

電話 : 514-866-3429 (代)

E-mail : consul@mt.mofa.go.jp

(2) 戸籍関係届出書・警察証明申請書の年内日本送付のための当館受付最終日について(再度のご案内)

出生届, 婚姻届などの戸籍関係届出書や警察証明申請書を, 年内に日本へ送付を希望される場合の, 当館の届出・申請受付最終日を以下のとおりお知らせいたします。

- 戸籍関係届出 12月19日(水)届出受理まで
- 警察証明申請 12月19日(水)申請受付まで

上記の日より後に, 届出・申請をされた場合, 届出書・申請書の日本への送付は, 来年1月1日(金)になります。

なお, 戸籍関係届出書につきましては, 届出書の種類によっては, 直接, 皆様から本籍地役場に郵送することもできますので, 当館領事班までご照会ください。

電話 : 514-866-3429 (代)

E-mail : consul@mt.mofa.go.jp

(3) 当館管轄州での来年1月の領事出張サービスについて(再度のご案内)

当館では, モントリオールから離れた地域にお住まいの皆様のために, 領事出張サービスを

実施しています。

来年1月の領事出張サービスについて、以下の日程で実施することになっておりますので、改めてお知らせいたします。

近隣にお住まいの皆様におかれましては、是非この機会をご利用くださいますようお願いいたします。

○ケベック市領事出張サービス

日時 : 2019年1月26日(土) 午前10時～午後12時, 午後1時～午後3時

場所 : Universite Laval, Pavillon Maurice-Pollack, Grand Salon (Local 2244)

住所 : 2325, rue de l'Universite, Quebec, QC, G1V 0A6

※ケベック-日本友好協会の新年会の会場の一部をお借りして実施いたします。

申込締切 : 2019年1月11日(金)

【詳細】 https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday_QC_20190126.html

平成30年度の領事出張サービス実施予定については、こちらをご確認ください。

<https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday.html>

領事出張サービスに関するご照会は、当館領事班までお問合せください。

電話 : 514-866-3429 (代)

E-mail : consul@mt.mofa.go.jp

(4) 永住者 (PR) カードの更新について (注意喚起)

カナダ政府によると、カナダの永住権をお持ちの方が、国外からカナダに、航空機、船、列車、バス等で再入国される場合、有効な永住者カード (Permanent Resident Card (PR カード)) が必要です。万が一、国外で PR カードを紛失した場合、カナダ再入国前に、滞在国のカナダ大使館等で、永住者用渡航文書 (PRTD : Permanent Resident Travel Document : カナダ永住権があることを証明する書類) を取得する必要があります。詳しくは、以下のカナダ移民局のホームページをご参照ください。

また、カナダにおける永住権をお持ちの方で、有効な PR カードをお持ちでなく、カナダ国外に出て、カナダに再入国する予定のある方は、速やかに PR カードの更新手続きを行ってください。有効な PR カードをお持ちでない場合、カナダへ戻るための航空機への搭乗を拒否されるケースがございますのでご注意ください。

当館領事窓口では、パスポート・ビザ・証明書の発行及び戸籍の届出受付のために来館された方について、カナダにおける有効な滞在資格証明書として PR カードをご提示いただいております。当館に各種申請・届出を予定されている方で、PR カードの有効期限が切れてしまった方は、PR カードの更新手続きを実施してください。

【カナダ国外で PR カードをなくしたら (カナダ移民局ホームページ)】

<http://www.cic.gc.ca/francais/centre-aide/reponse.asp?qnum=064&top=10> (仏語)

<http://www.cic.gc.ca/english/helpcentre/answer.asp?qnum=064&top=10> (英語)

(5) 日本出入国時の顔認証ゲートの本格導入 (再度のご案内)

入国管理局では、平成29年10月18日から、羽田空港の上陸審査場に顔認証ゲートを3

台先行導入し、平成30年8月までに、羽田空港に加え、成田空港、中部空港、関西空港及び福岡空港の上陸審査場に本格導入しました。また、当該5空港の出国審査場へも本格導入し、日本人の出国手続、帰国手続の両方で利用できるようにする予定です。

なお、顔認証ゲートの利用に当たり、事前の利用登録手続は必要ありません。

顔認証ゲートを利用した場合、パスポートに出入国印は押されませんが、以下のような目的により、出入国印を希望される方は、顔認証ゲートを通過後、税関検査前までに、顔認証ゲート後方にいる職員または各審査場事務室に申し出てください。

- ・海外渡航中の運転免許証の有効期限経過による再取得の手続
- ・海外から帰国した場合における転入届に係る手続
- ・年金保険に関する合算対象期間（免除期間）の証明手続
- ・非居住者の免税手続
- ・外国査証の申請手続

詳細は以下の法務省HPをご参照ください。

http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri07_00168.html

（6）モンリオール日本語センターからのお知らせ（2019年度教員募集）

モンリオール日本語センターでは、以下のクラスで日本語を教えていただける先生を募集いたします。

- ・4歳の幼児クラス（継承語として）
- ・6歳～12歳の子供クラス（継承語として）
- ・13歳以上の成人クラス（第二外国語として：日本語教師としてのキャリア形成に最適）

【勤務条件】

- ・2019年4月より1年間、毎週土曜日の朝10時～12時で勤務できる方
※7月と8月は夏季休暇
- ・カナダでの就労に適切なビザをお持ちの方
- ・日本語教育経験者優遇
- ・複数年に渡って勤務できる方優遇

【待遇】

委細面談

【応募方法】

info@japanesecenter.com 宛に履歴書をお送りください。

（7）安全対策：年末年始の空き巣対策

年末年始は、旅行などで長期間自宅を不在にすることが多くなります。各警察では、休暇シーズンを狙った空き巣による被害を防止するため、次の対策をとることを推奨しています。

- ア 家屋が庭木や生け垣で完全に囲まれないようにするとともに、扉付近を常に明るく保つ。
- イ タイマー式あるいは人感センサー付きの自動照明装置を取り付ける。
- ウ 警報装置を設置し、ベルやランプなどで異常事態発生時に周りの人に分かるようにする。

- エ 地元警察署に、その地域にあった空き巣対策について相談する。
- オ 玄関前の雪かきを、近所の方や知人に依頼する。
- カ 不在時は、郵便物を近所の方に預かってもらう、あるいは新聞配達を中止するなど対策をとる。
- キ 自宅の電話が転送されるようにする。
- ク 戸締まりを忘れず、出かける前には必ず再度確認する。

特に長期間自宅を不在にするときは、留守宅に人が住んでいるように見せることで、安全性を高め、空き巣の注意を逸らすことができます。

なお、万が一空き巣被害にあった場合は、自分で直接捕まえようとはせず、すぐに警察（911）に通報し、警察が到着するまで、現場にあるものは動かさないようにしましょう。

4 広報・文化便り

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様御自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を（culture@mt.mofa.go.jp）までお知らせください。毎月末までに原稿をいただければ翌月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

（1）日加修好90周年記念事業の募集

2018年は、日本とカナダが外交関係を樹立してから90年目に当たります。日加両首脳が「日加協力新時代」と名付けた最近の日加関係にスポットライトを当て、この節目の年を日本とカナダの間の幅広い協力・交流の年として祝うため、以下の要領で、日加修好90周年を記念するにふさわしい事業を募集し、「日加修好90周年記念事業」として認定します。周年事業として認定された事業は、広報媒体（ポスター、パンフレット、チラシ、プログラム、ウェブサイト、看板、垂れ幕等）に、「日加修好90周年事業」の名称とロゴマークを使用いただくことができるほか、管轄地区にある大使館又は総領事館の「日加修好90周年行事カレンダー

（https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/90th_calendar.html）」に掲載されることとなります。皆様も奮って御参加ください。なお、現行ロゴは12月31日までの使用となります。

日加修好90周年記念事業の認定基準、申請方法等、詳細はこちらからご確認ください。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/90th_event.html

5 日本関連行事等のお知らせ

*以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問合わせください。

* 外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様への御参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんので御了承ください。

(1) 2019年ケベックー日本友好協会新年会（ケベック市）

* 同会場で「領事出張サービス（10時～15時）」が開催されます。

* 伊澤修在モントリオール総領事による「外務大臣表彰」伝達式が行われます。

日時：2019年1月26日（土）11時～15時（受付、キオスク開始11時）

場所：ラヴァル大学

Pavillon Maurice-Pollack (Grand Salon, 2階)

2305, rue de l'Université, Quebec

会費：(会場費+昼食お弁当) 当日現金でご用意ください。

大人（13歳以上）：23ドル，7歳～12歳：12ドル，6歳以下：無料（昼食はご持参，または12ドルのお弁当をお申し込みください。）

申込締切日：2019年1月18日（先着100名で終了）

* ボランティアで、パフォーマンスやお手伝いをしてくださる方，またキオスク（1テーブル使用料25ドル）を出店希望の方（テーブルと椅子の数記入）を募集しています。

参加申込み及び問合せ先：ゴバン雅美氏 quebecjapon2018@gmail.com

https://www.facebook.com/associationdamiciequebecJapon/?modal=admin_todo_tour

(2) 鼓童ワン・アース・ツアー2019「Evolution」

太鼓芸能集団「鼓童（<https://www.kodo.or.jp/>）」が2019年1月～3月にアメリカ、カナダツアーを行います。3月23日にはモントリオール公演が行われます。

上演作品：「Evolution」（演出：坂東玉三郎）

日時：3月23日（土）20時

場所：Salle Wilfrid-Pelletier, Place des Arts

詳細はこちらからご確認ください。

https://www.kodo.or.jp/performance/performance_kodo/10025

<https://placedesarts.com/en/event/kodo>

6 ケベック州・大西洋4州政治経済情勢

(1) 政治

ア ケベック（QC）州

・ 1日，ルソー州首相はラボーム・ケベック市長と初会談し，インフラ設備計画等について意見交換を行った。

・ 1日，ルソー州首相は宗教的シンボルの着用に係る法案を来春に提出する旨発言。

・ 3日，世論調査会社Leger社の調査によると，モントリオール市民の半数近くが新たな市長を求めているという結果となった。

・ 6日，ランドリー（Mr. Bernard Landry）元ケベック州首相（2001～2003年）が逝去。

・ 19日、ルソー州首相は、フォード・オンタリオ州首相に対し、トロントでの仏語系大学設立に対する資金援助の停止や同州警察における仏語サービス提供の停止に関して再検討を促す共に、両州間での貿易額を500億加ドルまで増やしていく点で合意。

・ 23日、ケベック党（PQ）及びケベック連帯（QS）は、国民議会において正式に野党であると承認され、両党共に160万ドルの政党助成金、議会での発言権や委員会への出席権等の権利が与えられる。

・ 26日、ブランシェット（Mr. Yves-Francois Blanchet）政治コメンテーター（元州議会議員（ケベック党））は、2019年のブロック・ケベコワ（BQ）党首選に出馬する意向を表明。

・ 26日、当地世論調査会社CROP社によるケベック州内1,000人を対象にした調査によれば、ケベック未来連合（CAQ）政権が掲げる公職従事者の宗教的シンボルの着用を巡る問題に関し、72%が裁判官による宗教的シンボル着用の禁止に賛成、教員に対しては65%が賛成と回答。

・ 27日、パラディ（Mr. Francois Paradis）州議会議員がケベック州議会議長に就任。

・ 27日、当地世論調査会社CROP社は、ケベック州の年間移民受入数を5万人から4万人に減少させることを州民の大半が歓迎するという調査結果を発表。

・ 28日、ルソー州首相は州議会の開会に合わせて所信表明演説を行い、教育、経済の増強、文化と言語の保護等の重要性を強調した。

・ 28日、ビル・クリントン夫妻がモントリオールを訪問、市内のベル・センターで講演し、カナダの保健制度が米国のロールモデルとして果たす役割について発言。

イ 大西洋州一般

・ 8～13日、連邦政府主催カナダ大西洋州経済ミッションが中国に派遣された。NB州を除く大西洋3州の州首相、70以上の企業や経済団体が参加。また、9日、カナダ大西洋経済開発庁（ACOA、連邦政府機関）は、同経済ミッションにおいて、教育や農業の分野で11の協定が締結されたと発表。予想評価額は3億2,160万加ドル。

・ 16日、連邦政府は、高等教育機関や企業による海洋分野における新技術開発を支援するため、大西洋州の海洋スーパークラスターに1億5,300万加ドルを支出する旨発表。

ウ ニューファンドランド・ラブラドール（NL）州

・ 8日、今春から2現職大臣によるセクハラ・パワハラスキャンダルに見舞われていた州自由党政権の内閣改造が実施された。ハラメントの疑いは晴れたが不適切な言動があったと認められたカービー教育・幼少期発展大臣及びジョイス地方自治関係・環境大臣は、州自由党から除名されたまま、閣僚から外れた。ポール州首相は、2019年10月に予定されている州議会選挙には当該体制で臨むと表明。

・ 14日、グレイトン・ペレイ進歩保守党幹事長（President）が辞職し、新党「NLアライアンス」を結成。

・ 30日、テキストメッセージで緊急通報できるサービスが州内で開始。同サービスを導入する州としては、NL州がカナダで最後。

エ プリンスエドワードアイランド（PEI）州

- ・ 5日、複数の自治体で地方選挙実施。シャーロットタウン市では、元同市議のフィリップ・ブラウン氏が新市長に当選。
- ・ 24日、仏語で届いた州民からのEメールに対し、英語で一言「仏語は話しません」と返信したことで、州の仏語サービス法に違反しているとして非難を受けていたビガー州交通・社会基盤・エネルギー大臣が州議会で正式に謝罪。
- ・ 27日、州政府は、今後5年間で1億加ドルを支出予定のメンタルヘルスと依存症対策プログラムの詳細を発表。オンラインサービス、地域サービスセンター、病院建設等を計画。

オ ノバスコシア（NS）州

- ・ 10～24日、マクニール州首相が中国及び日本を訪問。18日、NS州は広東省と姉妹協定を締結。両者は貿易、投資、情報通信技術、海洋経済、農業、エネルギー、教育、文化、観光、運輸・ロジスティックスの面で関係強化を目指す。広東省と姉妹協定を結ぶのはアルバータ州とブリティッシュコロンビア州に次いでNS州が3番目となる。
- ・ 16～18日、ハリファクス国際安全保障フォーラムが開催。
- ・ 16～19日、NATO加盟国国会議員会議（NATO-PA）がハリファクスで開催。

カ ニューブランズウィック（NB）州

- ・ 2日、NB州自由党のギャラン州首相率いる少数派政権が、州議会の不信任投票により倒れる。
- ・ 2日、ギター州議会議長（州自由党）が引き続き議長職に留まる旨表明。
- ・ 9日、進歩保守党のヒッグス州首相による組閣が実施。
- ・ 15日、州自由党のギャラン党首が党首辞任を発表。新党首が決定するまで野党党首職に留まる。州議会議員は継続予定。
- ・ 19日、ヒッグス州首相は、救急サービスの向上を目指すため、緊急度の低い救急搬送について、救急隊員の英仏バイリンガル能力を問わない新しいサービスを開始する計画を発表。
- ・ 20日、州議会召集。進歩保守党が用意し、ロウ＝ヴィエノー副総督が読み上げた所信表明演説は、次の5つの目標を掲げている。均衡財政、経済改善のための民間セクター活性化、医療サービスの改善、世界基準の教育制度づくり、州民の中産階級入り。
- ・ 22日、アカディア地方自治の道を探る新団体「アカディア人民議会」が発足。同会代表は元環境活動家のダニエル・ルブラン氏。他のメンバーは公表されてない。今後2年間でアカディア人による特定分野の直接自治を可能にする運営モデルを定める。
- ・ 28日、スチュワート州先住民関係大臣は、州裁判所で証言する先住民族は今後、宣誓や誓約時に鷲の羽を使用できる旨発表。
- ・ 29日、ヒッグス州首相は、連邦より課される炭素税に反対するため、サスカチュワン州が起こしている訴訟に加わる旨表明。
- ・ 30日、ヒッグス州首相が、州議会の投票により信任を得る。

キ 大西洋州における世論調査（MQO）

(ア) 州議会選挙投票先

・PEI (10月22日～11月4日): 緑の党32%, 自由党31%, 進歩保守党30%, 新民主党 (NDP) 7%

・NS (10月18日～11月3日): 自由党42%, 進歩保守党36%, NDP15%, 緑の党6%, その他1%

・NB (10月23日～11月5日): 進歩保守党36%, 自由党29%, 緑の党21%, ピープルズ・アライアンス (PA) 11%, NDP3%

(イ) 連邦議会投票先

・PEI (10月22日～11月4日): 自由党44%, 保守党30%, 緑の党14%, NDP11%, その他1%

・NS (10月18日～11月3日): 自由党50%, 保守党34%, NDP10%, 緑の党6%, その他0%

・NB (10月23日～11月5日): 保守党38%, 自由党35%, 緑の党15%, NDP8%, その他5%

(2) 経済

ア ケベック (QC) 州

・2日, 環太平洋パートナーシップ協定 (TPP) により, 連邦政府は州内の豚肉の輸出は29%増, 対日輸出は36% (6億3,900万加ドル) 増と試算。

・5日, Lowe's社は州内のハードウェア販売店 Rona 9店舗を閉店する旨発表。

・6日, ケベック電力公社 (イドロ・ケベック) 理事会会長にコテ (Mr. Jacynthe Cote) 氏が就任。

・8日, ボンバルディア社は, 5,000人 (ケベック州内で2,500人) の社員を解雇。また, 同社のQ400シリーズを売却。

・9日, 連邦最高裁は, 連邦政府に全加有価証券監督機関 (regime de réglementation pancanadien des valeurs mobilières) 設立に関する権限を認める判決を下した。

・12～15日, プラント・モンリオール市長率いる経済ミッションは, ロサンゼルスを訪れ, モンリオール市を米国映画・ドラマの撮影地とするプロモーションを行った。

・12日, ボンバルディア社・Alstoms社のコンソーシアムは, モンリオール市交通局 (STM) から新型車両Azur 153台 (9両編成の列車17台。総額4億4,700万加ドル) を受注。

・14日, ケベック州企業のCoveo社及び米映像エフェクトスタジオのPixomondo社は, AI分野で400名を新規で雇用する旨発表。前者は, 同事務所を拡大し向こう1年間で225名の新規採用を行う予定であり, 後者は2022年までにモンリオールに新しいスタジオを建設して180名を新規雇用する予定。

・14日, ルゴ州首相は, スコット (Mr. Phil Scott) 米バーモント州知事とモンリオールで会談。同州知事より, ケベック電力公社 (イドロ・ケベック) から更なる電力の購入意思が示されるとともに, マサチューセッツ州への送電計画について, 海底ケーブル敷設が困難な場

合はバーモント州を經由することも可能である旨発言。

- ・ 15日、ルゴー州首相は、米ボストンを訪問し、ニューイングランド議会やマサチューセッツ州知事とケベック電力公社（イドロ・ケベック）による水力発電等について意見交換を行った。

- ・ 15日、塗料製造会社の Sico 社は、州内の工場と物流センターをオンタリオ州へ移転し、これにより125名の雇用が失われると発表。

- ・ 16日、ルゴー州首相は、ケベック州の Rouyn-Noranda（州南西部）と Saguenay（州中南部）を結ぶ天然ガスパイプライン計画（総額140億加ドル）は「非常に興味深い」計画であると発言。

- ・ 20日、モントリオールにおける2018年のGDPは2.9%増を示し、トロント及びカルガリーを抜き、1987年の調査開始以降、初めて国内13都市の中で首位を記録。

- ・ 29日、ルゴー州首相は Apuiat 風力発電計画（6億加ドル）の中止を決定。

イ ニューファンドランド・ラブラドール（NL）州

- ・ 2日、カナダ最高裁判所は、1969年にケベック電力公社（イドロ・ケベック）との間で締結された契約の見直しを求めるNL州営の水力発電公社「チャーチル・フォールズ・コーポレーション」の訴えを棄却。契約は2041年まで有効で、イドロ・ケベックがコスト超過を負担する代わりに、生産される電力の大半を固定レートで買い取っており、この契約によりQC州はこれまでに280億加ドルの利益を得たのに対し、NL州は20億加ドルしか得ていない。この決定を受け、ボール州首相は自身の政権下ではこれ以上の訴訟は起こさない旨表明。

- ・ 8日、カナダ・ニューファンドランド・ラブラドール海洋石油委員会（C-NLOPB）は、州内の海洋油田開発許可に対する公募の結果、過去最高となる総額13億加ドルの入札があったと発表。

- ・ 19日、15日の記録的な悪天候で採掘を中断していたシーローズ油田で、翌日の再稼働時に25万リットルの原油が流出したとの石油開発企業ハスキー・エナジーの発表を受け、カナダ・ニューファンドランド・ラブラドール海洋石油委員会（C-NLOPB）が調査を開始。州内で最大の原油流出事故。

- ・ 22日、ウエストジェットはセント・ジョンズ-ダブリン間の直行便の運航中止を発表。

- ・ 27日、州政府は、プラセンチア・ベイ（ニューファンドランド島南部）におけるノルウェー企業「グリーグ」によるカナダ最大のサケ養殖場建設計画についての環境アセスメントに不備があったとする大西洋サケ連盟の訴えを退けた。

- ・ 27日、米国の鉄鉱石鉱山開発企業「タコラ・リソーシズ」は、2014年に休止していたラブラドール西部のスカリー鉱山の操業を2019年夏に再開する旨発表。

ウ プリンズエドワードアイランド（PEI）州

- ・ 20日、シャーロットタウン港は、2018年のクルーズ旅客数は過去最高の約98,000人、クルーの数は約44,000人で、直接的な経済効果は1,650万加ドルであったと発表。

- ・ 26日、地ビール製造関連製品等を生産してきたダイヴァーシファイド・メタル・エンジ

ニアリング（DME）が支払い不能となった。DMEは27年間シャーロットタウンで操業してきた。

エ ノバスコシア（NS）州

・1日、連邦政府は、カナダ海軍の軍艦の維持修理に係る70億加ドルの契約を、ハリファックスのアーヴィング、BC州のシースパン・ヴィクトリア、QC州のデイヴィの3造船所と結ぶと発表。

・2日、連邦政府は、カナダ海軍が使用する6隻目の北極海上巡視船を購入し、当該船舶はハリファックスのアーヴィング造船所で造られると発表。

・8日、ハリファックスの子供向け番組大手DHXメディアは、自社のアニメーションスタジオを別のハリファックス企業IOM（Island of Misfits）メディアベンチャーズに売却。

・13日、英エネルギー大手BPは、パートナー企業と進めていたNS州沖のアスピー油田における3度目の試掘の結果、採算に見合うほどの埋蔵量がないとの結論に達し開発を断念。

・15日、主に中国向け海産物輸出貨物取扱増に対応するために、ハリファックス・スタンフィールド国際空港に新しいロジスティクスパークを建設するため、連邦政府は1,800万加ドルの支出を発表。NS州政府は500万加ドルを支出する。

・15日、サジャン連邦防衛相は、ハリファックスのアーヴィング造船所が獲得した契約に変更はないと述べ、ハリファックスにおける造船作業の一部が他の造船所に移管されるという噂を否定。

・21日、10月に連邦政府が米ロッキード・マーティンと締結した新しい軍艦のデザイン契約（軍事関連支出としてはカナダ史上最高額の総額600億加ドル）に関し、落札できなかった2社のうちの1社である米アリオン・サイエンス・アンド・テクノロジーは、ロッキード社のデザインは入札条件を満たしていなかったとして、連邦政府の決定の取り消しを求めて連邦裁判所に提訴。

・27日、NS・PEI両州の連邦上院議員グループ（独立系）は、NS州の製紙企業ノーザンパルプが処理済み排水をノーサンバー海峡へ直接放出する計画について、連邦政府による徹底的な環境アセスメントを実施するよう、トルドー連邦首相に求めた。

オ ニューブランズウィック（NB）州

・6日、ニュートリエン（旧ポタッシュコープ）は、2016年初めから休止状態にあった州南部サセックスのカリウム鉱山を完全に閉山。

・26日、ヒッグス州首相が復活させたがっているエナジー・イースト・パイプライン・プロジェクトについて、トランスカナダ社で同プロジェクトとキーストーンXLプロジェクトを担当したデニス・マコナキー氏は、復活は実質不可能だと述べた。同プロジェクトは、アルバータ州からNB州セントジョンまでパイプラインで石油を運ぶ計画で、トランスカナダは2017年10月に計画の断念を既に発表している。

[在モンリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから送信されています。本メールあてに直接返信なさないようお願いいたします。本メールマガジンに関する御意見・御要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。 emagazine@mt.mofa.go.jp

○配信中止・配信先変更を希望される方は、「配信中止（又は登録解除）」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、 emagazine@mt.mofa.go.jp まで御連絡願います。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし、在モンリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらを御利用ください。

○バックナンバーの閲覧は、以下のホームページからお願いいたします。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html

○参考ホームページ

首相官邸ホームページ（ www.kantei.go.jp ）

外務省ホームページ（ www.mofa.go.jp/mofaj/ ）

在カナダ大使館ホームページ（ www.ca.emb-japan.go.jp ）

当館ホームページ

（ https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html ）

当館 Facebook（ www.facebook.com/JapanConsMontreal ）

○発行：在モンリオール日本国総領事館

Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie, Suite 3333,

Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当

（ emagazine@mt.mofa.go.jp ）まで御相談ください。
